

【 令和5年度 青梅市立第七中学校 学校評価シート 】

〈学校経営方針の重点〉

1 確かな学力の向上(知) 2 豊かな人間性の育成(徳) 3 健やかな心と体の育成(体) 4 地域に根ざした学校づくりの推進

※評価 A(高度に達成) B(おおむね達成) C(達成するにはもう一歩) D(ほとんど未達成)

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
学力の向上	基礎的・基本的な学習内容の定着と発展的な学習の充実	小規模特別認定校制度を生かしたきめ細かい指導を徹底し、指導方法の工夫と改善を図る。	生徒のよい点や可能性を見つけ、伸ばす指導の工夫を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数を最大限に活かし、一人一人の生徒に寄り添った指導ができた。 ・ICT機器を活用し、個の力を伸ばす教育を推進することができた。 ・生徒一人一人が活躍できる場を設け、体育大会や学習発表会では、それぞれの個性を發揮し、自信を高め、モチベーションを向上させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分の興味や才能を追求するために図書館の利用や一人1台端末の活用、外部の専門家による授業を積極的に取り入れる等、教室内外で積極的に学ぶ環境を整える。 ・少人数を生かしたディスカッションや縦割りグループなどの活動を通じて、他学年の生徒との交流やアイデアの共有を促進する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数だけに、個々の特性も見つけやすいのではと思うので、どんどん伸ばしてあげてほしい。 ・おかげさまで家にタブレットをもちかえり、学習しています。幅広い教育がうけられることに感謝いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、生徒の姿を丁寧に見とる機会を増やし認める場を意図・計画的に実施し、生徒一人一人のよい点や可能性を伸ばす指導の充実に取り組む。 ・小規模校の特性を活かした授業改善に主体的に取り組む。 ・数学及び英語においては、教員を2名配置し、1学級を分割してさらに少人数指導を行う。授業形態として、数学は習熟度別授業を導入する。
			めあて、課題、まとめ、振り返りを適切に設定した授業を行い、生徒の主体的な学びを促す。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・めあて、課題、まとめ、振り返りを設定した授業を行うことができた。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を育てるため、めあて・課題・まとめの一連の流れを大切にすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組む姿勢を明確にして評価していくことが改善につながる。次年度も引き続き、主体的な学びの充実を目指して取り組んでいく。 ・生徒の様子や教材研究を通して、生徒が興味、関心をもつような課題の設定を心がける。生徒が能動的に学べるようなアクティブラーニングを通じて、自ら学びを追求することができる環境を構築していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で色々大変だったと思いますが、今後調理実習など増やしてほしいです。 ・興味関心のあることを、主体的に掘り下げる・まとめる・発表する。すばらしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習等、実技や体験等の授業を充実させる等、引き続き、授業改善を進める。 ・令和6年度より総合的な学習の時間において、探究活動を柱とした学習を進める。生徒が選択したテーマに沿って、自ら学びを深める活動を継続することで、生徒の主体的な学びをさらに推進していく。
			生徒が自分の考えを表現したり、他と比べたりしながら、自分の考えを再構築する場面を設定する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の授業・総合的な学習の時間や道徳科の授業を通して、表現・比較・再構築ができたと考えられる。学習発表会や作品展に向けた取り組みなど、行事も大きな教育の機会となっている。 ・学習発表会等の行事を通して、学年に関係なく、生徒が自分の考えを表現したり、他と比べながら、自分の考えを再構築する機会を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをさせ、それを生かしたかを確認する機会を増やしていく。 ・次年度も引き続き、思考のサイクルを身に付けさせていく。 ・生徒が異なる視点や意見をもつ他の生徒とのディスカッションを定期的に取り入れていく。縦割り学習を通じて、生徒が自分のアイデアを発展させる機会を設定していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会や作品展を見学いただきましたが、生徒のレベルが高く感心しております。先生方の指導に感謝いたします。 ・個人の考えを生かした作品が多数出品されていて、今後の活躍が楽しみです。 ・学習発表会では、和楽器など、他校では体験しづらいことなので、大いに体験させてほしい。 ・学習発表会も拝見し感動しました。個々の得意を生かし、楽しそうに取り組む姿が印象的でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善や行事の見直しを進めながら、今後も生徒が自己の考えを表現し発表する場面を多く設定する。 ・生徒が自己をみつめ、他の考えと交流を重ねながら、再度自らの考えを見直し、再構築することができるよう、学習計画や授業を改善していく。
			基礎的・基本的内容を繰り返し行い、粘り強く学習する力を育むために、一人一台の端末を活用したり、課題設定に工夫をしたりしながら、主体的に学習する意欲を育む。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器は大変よく活用されていると感じる。 ・一人1台端末をはじめ電子黒板など、日常の授業で活用されている。 ・課題設定については、教科の特性にもよるが試行錯誤している状態である。 ・一人1台の端末を活用して個別の学習を促すために、オンライン学習を活用した基礎的・基本的な内容の反復学習を行い、生徒の家庭学習を促進することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての先生方が一人一台の端末を有効活用できるようにICT研修をより進める。 ・オンライン学習の活用をさらに呼びかける。 ・主体的に学習する意欲を育むために、課題や宿題の設定に工夫を凝らし、生徒が自ら学習の目標を設定し、達成感を得られるようにする。 ・学習の進捗や成績を定期的に可視化し、生徒が自らの学習状況を把握しやすくする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックなどを活用し、勉強のレベルは上がっていることですが、視力の低下が心配です。 ・先生方、いつも熱心にご指導くださりありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な学習を充実させるために、一人1台端末や、電子黒板等を効果的に活用できるように、教員の研修を深めたり、授業改善を図ったりする。 ・オンラインの学習を授業内でも活用することで、基礎的・基本的な学習内容の徹底を図る。 ・オンライン学習の利用時間等健康面への配慮もしながら、家庭での活用も進めることで、生徒の主体的な学習を定着させる。
			個別最適な学びを充実させるために、学習相談週間等を活用し、学習方法を適切に示すとともに、家庭に協力を仰ぎ家庭学習の充実を図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で取り組んでいる「学習計画表」なども活用し、家庭学習も徐々に定着してきていると考える。 ・小規模特設校の特徴を生かし、個別最適な学びを充実させるために、学習相談週間等で生徒が質問しやすい環境を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への家庭学習の啓蒙活動を進めていく。 ・保護者会や面談、学校日より定期的に学校での生徒の様子や進路についての情報を共有し、学校と家庭の連携を深める。 ・学習相談週間をきっかけにして、昼休み等いつでも先生に質問できる態度を身に付けさせる。 ・今後も学習相談や授業後の振り返りを通じて、生徒の理解度や課題を把握し、適切なサポートをする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト前に集中する・・・が現状で、家庭では継続してコツコツを定番にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での様子や、学習相談週間を活用し、生徒の習熟状況を的確に把握することで、生徒一人一人の学習方法についてアドバイス等を行い、個別最適な学びの充実を図る。 ・生徒の習熟状況や勉強方法について家庭との連携をより一層丁寧に図り、家庭学習の定着を促進する。

豊かな人間性	互いの人格を尊重した人権教育を推進し、生徒の社会性の育成	いのちを大切に する心の教育を 推進し、いじめ の根絶を目指し て、思いやり、認 め合い、支え合 う指導を充実さ せる。	道徳科の指導に工夫をしたり、現在の課題について広い視野からの報道等を活用したりすることで、こころの教育を充実させる。	B	道徳の授業をはじめ、すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、概ね達成できた。	・命の週間における道徳の授業にいのちの大切さについて考える教材を全校で取り組むなど、こころの教育をより充実させたい。	A	・大勢の人から愛されていることを伝えてほしい。	・道徳科の授業改善を推進し、道徳教育の充実を図ることで、心の教育を推進していく。
			学校いじめ防止基本法に則り、いじめアンケートを活用し、いじめの未然防止・早期発見・解決を図る。	A	・いじめアンケートの活用やいじめ対策委員会で情報交換を緊密に行うことで高度に達成できた。	・引き続き、日々の情報交換を大切にし、未然防止や早期発見に務めるとともに、道徳科の授業も活用していく。	A	・親の前、先生の前、友達の前、それぞれの顔をもっている ので、アンケートだけじゃなく子供の様子も見てほしい。 ・LINE、SNSの正しい使い方を外部で教育することを勧めます。 ・この件は本当に発見しづらいものなので、細心の配慮をしてほしいです。	・生徒の日常生活をよく観察し、コミュニケーションをとることにより、いじめの未然防止、早期発見に努める。 ・インターネットやSNS等のコミュニケーションツールの使い方については、外部講師を招聘し、最新の情報を使って生徒が正しく利用できるように指導する。 ・生徒会のいじめゼロスローガンを周知し、生徒の自治活動として、いじめを許さない風土を高める。
			自他を大切にしてお互いを思いやり、支え合う心を育む。	A	・学校行事や生徒会活動、道徳科の授業を充実させることでお互いに思いやり、協力し、支えあう心を育むことができた。	・生徒の思いやりの意識を高めるため、その時の課題に応じた指導を充実させる。	A	・道徳授業公開講座の講演会の内容は良かった。生徒が多様性にふれる機会をつくってほしい。	・学校生活のあらゆる場面において、意図的・計画的に思いやりや命を大切にすることを育てていく。
健やかな心と体	心身ともに健康でたくましい生徒の育成	心体の健康を増進させるとともに、すべての生徒の居場所づくり、きずなづくりを推進する。	新型コロナウイルス等の感染防止対策を適切に行なわせ、自分と他人の健康を守る態度を養う。	B	・日々の保健指導を通して感染予防の意識を高めることができた。	・今後も感染予防の意識を高め、自分だけでなく他者の健康も守ることの意識を高めたい。	B	・概ね達成していると考えている。	・感染症等への対策については、常に当たり前のことと捉え、平時から取り組む態度を育てる。
			規範意識の醸成、あいさつの励行、礼儀作法の徹底を図り、生徒の社会性を育む。	B	・生徒会のあいさつ運動や道徳の授業、日常の教育活動を充実させることで、概ね達成できた。	・学校のルールについて改めて考える機会を設ける等、意図的に規範意識の醸成を図りたい。	A	・学校を訪問すると、生徒さんからのあいさつに(さりげない)感心します。	・生徒自ら学校のルールについて考えたり、話し合ったりする活動を通して生徒の規範意識を高める。 ・生徒の社会性を育むために、あいさつの励行や美しい礼儀作法を身に付けさせる取組を継続する。
			生徒に寄り添う指導を継続しながら外部機関と連携をし、不登校生徒と家庭の支援を組織的に行う。	B	・校内委員会における情報交換を充実させスクールカウンセラーとも連携することで、欠席が多い生徒に対して組織的な支援を行うことができた。	・スクールカウンセラーやSSWとの連携をより充実させ、個々の生徒のちがいをとらえ、課題改善に向けて取り組みたい。	B	・同じ言葉でも人によって受け取り方が異なるので、個々を見て対応してほしい。	・生徒の情報については常に気を配り、個々の生徒や家庭に寄り添っていくことで、学校と生徒・家庭とのつながりを深めていく。 ・外部機関と十分に連携を図り、課題解決を図る。
			生徒会活動の生徒の主体的な活動や行事等を通して、生徒の居場所づくり、きずなづくりを推進する。	B	・生徒会や実行委員が中心となり活発な委員会活動や生徒会企画行事を行うことで、概ね達成できた。	・生徒会活動の活発化を図り、各行事において生徒の活動をふやすことで、生徒の自主性の伸長を図り、より集団のきずなを深めたい。	B	・生徒の自治力を高めてほしい。	・生徒が自ら考え提案したり、企画・運営したりする活動を推奨し、主体性を育む。 ・生徒相互のきずなを深め、全ての生徒の居場所をつくるために、生徒会活動の充実を図る。
地域に根ざす学校	地域に根ざし、地域から信頼される学校の推進	学校を地域に開き、地域の人材を活用しながら教育活動の充実を図る。	学校公開や学校だより・学級だより・HP等で教育活動の様子を積極的に公開し、地域の関心を高める。	B	・毎月の学校だよりの発行、HPのブログや部活動予定等の更新など、情報公開を積極的に行った。	・学校行事の公開や、その際の生徒の活動を学校だよりやHPに多く掲載し、地域に紹介していく。	A	・HP作成、日々忙しい中大変ですが、たまには行事だけでなく日常の様子などもブログに載せてくれると嬉しいです。	・個人情報に配慮しながら、生徒の学校生活や行事での活躍などを地域や保護者に積極的に公開することで、地域の皆様のご支援を仰いでいく。
			地域とともに、安心安全な学校づくりを推進するために、交通安全教室や成木の特性を生かした青梅学、金融教育等、地域人材を活用して、特色ある教育活動を推進する。	B	・校外からゲストティーチャーを招いての様々な教育活動を行った。特に青梅学や金融教育では、青梅市や成木地区から講師を招き、地域と連携した学習を行った。	・地域の講師を招いての教育活動は、引き続き推進していく。ゲストティーチャーは、より地域と連携できるよう、幅広く地域に協力を求めていく。	A	・勉強以外の教養がつくことで、子供達の世界が広がってとてもいいことだと思います。読み聞かせなども増やして欲しいです。 ・若林講師のご活躍に期待しております。	・地域とともにある学校を目指し、地域の特徴や人材を十分に活用した教育をさらに進めていく。
その他重点	特別支援教育の推進	生徒一人一人の特性を理解した指導を行う。	・教育相談活動を充実させるとともに、生徒の特性等について共通理解を図る。 ・SCや外部機関と連携し、課題解決を図る。 ・特性に応じた指導方法について研修を行い、指導に生かす。	B	・特別支援コーディネーターを中心に、生徒の学習や生活の様子を観察し、その特性について理解するとともに、校内で情報の共有した。SCや教育活動支援員とも連携し、生徒の支援を行った。	・SCや教育活動支援員との連携を継続して行い、また校内委員会での連絡・報告を確実にし、情報共有することで、教育相談活動を活性化させる。 ・特別支援教育の更なる充実を図る。	B	・概ね達成していると考えている。	・特別支援教育や個々の課題などについては、校内組織や外部機関を十分に活用し、全教職員で丁寧に対応していく。
			学校における働き方改革の推進	・校務支援システム等を活用し、校務改善を図る ・SSS等の支援員を活用し、生徒と向き合う時間を確保する。 ・校務を整理し、在校時間を適正にする意識を高めるとともに、定時退勤推奨日を積極的に活用する。	B	・校務支援システムの活用による事務処理やSSSへの作業依頼など、教員の業務軽減を行っている。そのため教員が生徒とかかわる時間が増えている。 ・時差勤務を利用する教員が増えたことで、教員の在校時間が適正な状態に近づいている。	・教員の働き方改革は、少しずつではあるが、進んでいる。 ・勤務時間以降に業務を行っている状態がある。極力勤務時間終了で退勤できるよう、働きかけや業務の精選を行っていく。	B	・勤務時間内で退勤できることが理想的ですが、子供達のために残って仕事を行っていることは素晴らしいことだと思います。ありがとうございます。 ・先生も身体が基本です。働き方改革を進めてください。 ・補助の先生を配置することは賛成ですが、生徒たちに影響のないよう、連絡を密にしてほしい。